

肢体障害のある人・内部障害のある人の困り事

No.	障害種別	場面	日常生活や社会生活での困り事	どう対応している/ どういった配慮が必要
1	肢体障害	医療・福祉	車椅子を使用しているが、病院での会計時、通路が狭く人とぶつかってしまう。	会計場所から少し離れた場所で待つようにしてもらい、係員の人に来てくれるようにしてもらった。
2	肢体障害	飲食店	初めて飲食店に行く場合は、必ず、車いすで入店できるのか、車いす用のトイレがあるのかを電話で確認するが、「大丈夫です」と言われて行ったものの、階段が何段もあってスロープがない店だった。店側は、従業員が車いすごと抱えて入店させるつもりだったようだが、寒い中、かなりの時間、待たされてしまった。	電話を掛けた時に、「階段でスロープがないのですが」と一言伝えて欲しかった。事前に教えてもらえれば、他のお店を探したと思う。
3	肢体障害	飲食店	飲食店に入る時に、スロープに自転車やバイクが停めてあって、中に入れなかった。	店の人に伝え、移動させてもらった。スロープにバイクや自転車を停めないように、客に周知して欲しい。
4	肢体障害	飲食店	ファミリーレストランで食事の際、プラスチック削減の取組みで、プラスチック製のストローが無く、店員に尋ねても、紙ストローしか無いとのことだった。障害特性上、飲み物を飲む時には、必ずストローが必要になるが、ホットドリンクの場合は、飲み終わる前に、ストローが溶けてしまって困る。	プラスチック製のストローも残して、選択できるようにして欲しい。
5	肢体障害	飲食店	ドーナツを買いに店に入ったが、ショーケースが車いすの視線では高い位置にあり、中のドーナツが見づらいため、買うのに一苦労した。店内も狭く、会計を済ませた後での移動も難しかった。	ショーケースのドーナツがもう少し見やすい（買いやすい）高さが欲しい。店内の広さ、通路の広さがもう少しゆとりが欲しい。
6	肢体障害	その他	宿を予約した後に車椅子ユーザーは泊まれない。他を予約して下さいと言われた。	最終的には、宿側が対応してくれた。
7	肢体障害	その他	外出の際は、困ることだらけで、公共交通機関は利用できず、買い物も困難。飲食店へも行きにくい。知人宅へ連れていけない。自宅でも危険がたくさんあり、生活環境造りに苦戦している。	バリアフリー化や、障害に対する理解が進めばいいと思う。
8	内部障害	公共交通機関	内部障害者は見た目では分からないので、席を譲ってもらえない。「ヘルプマーク」をバッグ等に付けていても、マークの意味が分からない人が多い。	もっと、「ヘルプマーク」を浸透させて欲しい。
9	内部障害	その他	内部障害者が、「ふくおか・まごころ駐車場」に車を止めると、嫌な顔をされる。	「ふくおか・まごころ駐車場」の利用対象者などについて、周知啓発して欲しい。